

平成30年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	410	災害や犯罪から身を守る、安全・安心なまちとしくみをつくる
施策	411	災害に強い安全なまちづくりを進める
施策の目標	建築物の不燃化や耐震化をはじめとして、木造密集市街地の改善が進み、地震、火災や水害などの災害に強く安全なまちが形成されており、区民が安心して暮らしています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	建築物の不燃化率									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					62.0					64.0
実績										

指標名	住宅の耐震化率									
	基準年(H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標					95.0					98.0
実績										

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
空き家対策事業により、管理不全な老朽危険家屋が除却され、老朽危険家屋の解決件数が着実に増加している。今後は、空き家の発生を予防する対策に力を入れていく必要がある。	H28	15,772
	H29	9,614
	H30	

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	指標の数値からも明らかなように、年度目標値を確実にクリアしながら、老朽危険家屋の解決が着実に図られている。

4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
○		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
少子高齢化の進展等により、更なる空き家対策が必要となることから、既存事業については、より効率的に実施していく必要がある。		
【今後の具体的な方針】		
平成29年度に策定した「墨田区空家等対策計画」に基づき、既存の老朽建物対策とともに、空き家の発生を抑制するための予防対策を一層推進していく。		

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	空き家対策事業	9,614	14,210	23,824	老朽建物のうち適正な管理が行われずに倒壊のおそれや火災等の危険がある建物の所有者等に対し、建物の危険排除や適正管理を行うよう促すことにより、災害に強い安全なまちづくりを進める。	270件	現状維持
						275件	平成29年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							